

「環境モデル都市」が日本の「低炭素社会」づくりに役立つために

2008.05.14 枝廣淳子

「環境モデル都市」は、さまざまな実験や試行錯誤も含め、「低炭素社会」づくりの先行事例を「作っていく」取り組みである。(すでにある事例を評定し、賞金を供与するものではない)

その目的は、選ばれた都市が低炭素型都市になるだけでなく、そのプロセスや試行錯誤、成功要因などを広く伝えていくことで、日本のすべての都市や町・村の低炭素化に役立つことである。

この「環境モデル都市」事業に公的資金を投入する以上、そのベネフィットは全自治体・全国民が享受できるようにすべきである。

そのためには、

選定後の専門家によるアドバイスやモニタリング

全国の都市や町・村が「in progress」から学べる機会の提供

が必須である。

選定後、各都市に対して、委員を中心とするアドバイザーチームをつくり、半年に1度の訪問・見学・現場でのディスカッションをおこない、その報告をあるフォーマットでとりまとめて、ウェブサイトで公開する

毎年1回、全モデル都市が参加する公開の「進捗報告会」を開催する。報告やディスカッションについては、ウェブサイトでも公開する。